

## 復興へ進む地域に貢献



東京都市中野区から派遣  
復興政策課  
阿邊 拓志さん 27歳

石巻市出身で、震災時は都内の大学へ進学直前でした。避難所生活も経験しましたが、進学後は地元その後の変化が気になっていても深く知ることができませんでした。今回の派遣は、地元を知り、さらに少しでも貢献できればと志願しました。

主な業務は公共交通の調整や計画策定です。広域で見れば地元といえる東松島市ですが、わからないことも多く、地域の皆さんから教えてもらう毎日です。東京に戻ったとき、同僚や知人に東松島の良さをアピールできるような業務に取り組みながら学んでいきます。

## 地域のために復興の完結を目指す

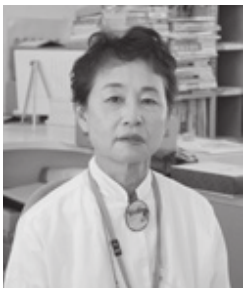


埼玉県越谷市から派遣  
建設課  
細川 哲義さん 33歳

昨年4月から復興整備関連の道路工事事業に携わっています。今年はおおい地区の排水路整備や柳の目地区に整備される災害公営住宅の接続路改良工事などを担当しており、工期内完了に日々努力しています。地域の方々に特産品をごちそうになったり、休日には地域の飲食店を巡るなどゆったりとした時間を過ごしています。

東京出身なので東北の様子を関東圏にいる親族や職場の人々に伝えていきたいです。限られた復興支援期間の中、地域の方との交流を大切にしながら、各種業務に日々努めていきたいと思っています。

## 大好きな東松島の復興に力



愛知県教委から派遣  
学校教育課  
山本 美幸さん 63歳

愛知県庁、同教育委員会、県立学校事務職員として定年まで勤務し、再任用職員として3年目になります。災害支援ボランティアの経験もあり、派遣申し込みを経てようやく来ることができました。現在は学校保健業務や小中学校が実施する敷地内の放射線測定結果のとりまとめ、経理事務指導などにあたっています。

東松島市の夏まつりでは、皆さん本当に楽しそう、数年でここまで復興をとげたのはすごいことです。微力ですが、この大好きな東松島市の復興に誠心誠意頑張りたいと思っています。

# 東松島の復興を 応援します



## 長期派遣職員の紹介



震災から7年、東松島市の復興を応援しようと、30年度も全国から49人の自治体職員の皆さんに支援をいただいています。派遣いただいている皆さんから、復興にかける思いや東松島市の印象などをシリーズで紹介していきます。

●長期派遣職員の皆さんは、「ピンク」のひもがついた名札を着用しています。

## 人とのつながり大切に

プライベートで宮城に旅行に来る中で復興への関心が高まり、派遣を希望しました。東松島市は人が温かく、地域と行政との距離が近いと感じています。

小さなお子さんを持つ保護者の方に向けた「すこやか学級」、友好姉妹都市の北海道更別村との交流事業など社会教育を担当しています。地域の皆さんと直接ふれあう機会の多い業務であり、人と人とのつながりを大切に、目の前の人を少しでも笑顔にできるようにと心がけながら、市職員の一人として頑張っています。



埼玉県東松山市から派遣  
生涯学習課  
三橋 恭平さん 27歳

## 専門知識を東松島のために活かす

東日本大震災発災当時はまだ大学生で、復興の経過はテレビで拝見し続けてきました。派遣の話が舞い込み、自らの専門知識を活かして復興事業に携われる機会と思い志願しました。津波被害を受けた野蒜地区の様子も確認しましたが、道路のひび割れや建物の破損状況を目の当たりにして、改めて被害の大きさを実感しました。

主に建築物の新築、解体、改修工事の設計管理を担っています。専門知識をフル活用して地域に尽くすとともに、地域の方々とも交流が育めばうれしく思います。



大阪府松原市から派遣  
建築住宅課  
中島 悠喜さん 27歳

## もっと知りタイ! 地域おこし協力隊 〈第18回〉

■問 地域おこし協力隊事務局 復興政策課地域振興班 ■内線1232



農漁業  
まつい なおと  
松井 直人さん (44)

### 大好きな地域の「人」に感謝

地域おこし協力隊としての任期はあと10カ月くらいで、本当にあっという間という感じですね。これまで東松島で培ってきたことをベースに、これからもこのまちで暮らしていけるための土台を作っていかなければならないと感じています。

思えばこれまで多くの人に支えていただきました。感謝の思いは尽きません。今後、協力隊のOBとなったときに、また新たにこの土地に移住してくる人たちに對して何かアドバイスができるような存在になりたいですね。そのためにもまずは自分がかかりと足をつけて、この地で生活していくのが大前提だと思っています。

人口減少が顕著となる中、どうこの地域を守っていくか、考えていかなければならないと思います。私は東松島の「人」に魅力を感じてこの地に越して来たので、人とのつながりは今後も大切にしていきたいです。

略歴 震災後の平成23年4月に埼玉県新座市から復興ボランティアとして来訪。28年7月に市の地域おこし協力隊第1号として委嘱され、農漁業を主として地域活性に取り組んでいる。